

茲ニ深甚ノ満足ト謝意ヲ表スル次第アリマス。
最後ニ參戰總理「ビブン、ソングラム」元帥ノ名ニ於テ此ノ歴史的
會議ハ成功視ニ議事ヲ了シ以テ大東亞ノ安固ト繁榮ヲ更ニ増進セン
事ヲ祈願致シマシテ私ノ所見ヲ結ヒタイト思ヒマス。

10

滿洲國代表片以譯文

本日茲ニ大東亞諸國ノ政府首腦各位ト親シク相見エ苛烈ナル決戦ノ
サ中ニモ大ナル希望ヲモチテ、隔意ナキ意見ヲ交換スルヲ得タルコ
トハ余ノ衷心ヨリ欣快トスルトコロデアアル。余ハコノ歴史的會台ヲ
主催セラレタル日本帝國政府ニ厚ク感謝スルトトモニ、東條總理大
臣閣下ヲ始メコノ最モ重大ナル時局ニ當リ國民ノ輿望ヲ擔ツテ日夜
國務ニ盡瘁セラレツツアル參會ノ各國政府首腦各位ニ對シ深キ敬意
ヲ表スル次第デアアル。更ニ又大東亞ヲ繞リ數千里ニ亘ル長大ナル戰
線ニアツテ今コノ降時ニ於テモ敵米英トノ激闘カ續ケラレツツアル
コトヲ思ヒ、余ハ大東亞戰後ノ一國トシテノ我國ヲ代表シ日本帝
國ヲ始メ參戰各國及ソノ將士ノ善謀勇戰ニ對シ虔シミテ感謝ノ誠ヲ

1

S 1.7.0.0 -48

152

S 1.7.0.0 -48

151

REEL No. A-1211

0091

アジア歴史資料センター

種クルモノデアアル。

大東亞戦争開戦以來日本皇軍ハ戦史ニ比類ナキ赫々タル大戦果ヲ
ケ以ツテ多年ニ亘リ東亞ヲ侵蝕シソノ犠牲ニ於イテ自ラノ繁榮ヲ維
持シ來リタル米英勢力ヲ隨處ニ擧破驅逐シ去リ、戦争勃發後二年ヲ
出テスシテ今ヤ裏ニ實境ヲ見タル緬甸、比島ノ獨立ヲ初メトシ、東
亞民族ハ逐次ソノ本然ノ姿ニ還リ各々ソノ所ヲ待テ浮々タル將
望ミ數百年來カノ貧寒飽クナキ米英帝國主義ノ爲失ハレタル左氣ヲ
トリ戻シツツアル。悲惨ナリシ過去ニ訣別シ汚辱セラレタル榮譽ヲ
回復スヘク米英支配權力ノ僞藩ト抑壓ニモ拘ラス東亞各國ニ賑々ト
シテ底流シツツアツタ解放ヘノ念願ハ日本帝國ノ終始一貫セル道義
的政策ト旺盛ナル實行力ニヨリ大東亞ノ名ニ於イテ茲ニ一舉ニ實現

セラレントシツツアルノデアアル。我々ハコノ千載一遇ノ好機ニ際會
シテ限リナキ覺悟ノ中ニモ東亞解放ノ爲身命ヲ抛テ鮮血ヲ流シタル
各國幾多ノ先覺烈士ヲ想起シ肅然襟ヲ正サザルヲ得ナイ。

余ハ更ニコノ幾十年前我が滿洲國ガ最初ノ眞ノ東亞的ナル自覺ヲ
有スル新興國家トシテ建國セラレタコトヲ回顧シ深キ感慨ナキヲ得
ナイモノデアアル。余モ又抑ヘ難キ熱情ヲ以ツテ建國ニ參畫シタノデ
アツタガ、當時滿洲ニ最モ缺ケテキタモノハ道義ニ基ク政治デアツ
タ。從ツテ民衆ハ何等理想アル目標ニ指導セラレ組織セラルルコト
ナク國土ハ荒廢シ軍閥ノ封建政治ニヨル無秩序ナル苛斂誅求カ行ハ
レ何等ノ自由性創造性モナキ典型的ナル虐ゲラレタル東亞ノ様相ヲ
呈シテキタノデアツタ。然シテ當時滿洲ノ支配者トシテ人民ニ飽ク

ナキ軍ヲ加ヘツツアツタ張學良軍閥ガ柔英ノ東亞獨立政策ニ乘ゼ
ラレテ露骨ナル反日態度ニ出デタノニ對シ日本ガ敢然起ツテ張軍閥
ヲ打倒シタ結果ココニ眞ニ國民ヲ向上シ國土ヲ發展セシムベキ自主
的ナル道義國家ノ樹立ニ一千萬民衆ノ總意ガ翕然トシテ集マツタノ
ハ當然ナル成行デアツタ。然シテ我等ノ意圖スル處ハ凡ユル國際勢
力ガ干涉シ來リ相互ニ紛糾シテ常ニ東亞ノ安定ニ脅威ヲ與ヘテキタ
滿洲ヲ一轉シテ眞ニ古キ東方道義ニ立脚シ新ラシキ東亞ニ目覺メタ
ル強ク正シキ國家トシテ東亞全體ノ安定力タラシメントスルニアツ
タ。我等ノ信ズル處ニヨレバ東亞カ光輝アル道統ニ立還リ本然ノ姿
ニ於イテ世界ノ文運ニ貢獻スベキコトハ恰モ歐洲諸民族ガ歐洲諸民
族トシテ生キ、米洲各國カ米洲各國トシテ自存スベキガ如ク大義ノ

斷ラカニ示ストコロデアリ、然シテ東亞ガ東亞タルノ自覺ヲ保持ス
ル限リソレハ何モノモ廻リ傳ザル歴史ノ必然ト考ヘラレタノデアアル
然ルニ東亞ノ東亞的目的ヲ好マザル柔英ハソノ具備機關タル國際聯
盟ヲ動カシ又當時南京ニアツタ蔣介石政權ヲ使職シ凡ユル防害ヲ加
ヘ來ツタ。シカモ我國ノ永久ニ感銘ニ種ヘザル事ハ日本ガ多大ノ國
力ヲ費ジテ血ヲ以テ張學良軍閥ヲ驅逐シタルニ拘ラス何等ノ領土的
野心ヲ示サス公明ナル道義的態度ヲ以ツテ我獨立ト自主發展ヲ援助
シタコトデアアル。加之日本ハ我獨立ヲ擁護スルト共ニ東亞新秩序建
設ヲ高調シテ國際聯盟ヲ脫退シ斷乎タル態度ヲ中外ニ聲明シタノデ
アツタ。斯ク考ヘルナラバ滿洲建國コソハ今日大東亞全域ニ實現セ
ラレツツアル大東亞共榮圈建設ガ最初ノ強力ナル一步ヲ踏ミ齒メタ

ルモノデアルトイフコトが出来ルノデアアル。
斯クノ如クシテ建國セラレタル諸國ガコノ十年間如何ナル政策ノ
下ニ如何ナル成果ヲ擧ゲタカニ就テハ特ニ全世界ノ注目ヲアツメテ
居ル處デアアルカ余ハコノ機會ヲカリテ二三ノ基本問題ニ觸レ御説明
シタイ。

第一ニ民族ノ協和デアアル。我滿洲國ニ於テハ日滿蒙其他多數ノ民族
カ共存シテ居ルノデアアルガ從來一般ニ異民族間ニ見ラレタルガ如キ
支配被支配、搾取被搾取ノ關係デハナク相互ニソノ特長ヲ發揮シツ
ツ國家目的ノ達成ニ協力シテユクモノデアアル。コノ點米英等帝國主
義ノ民族支配トハ根本的ニ相違スルノデアアツテ萬邦ヲシテ各々ソノ
所ヲ得シメ兆民ヲシテ各々ソノ者ニ安ンセシメントスル日本帝國ノ

6

精神ヲ相照スルモノトシテ大ニシテハ大東亞各國ノ共存共榮ノ万
式ヲ示スルモノト思フ。

第二ニハ北邊ノ防禦トイフコトデアアル。即チ大東亞共榮國ノ建設ニ
ハヒトリ我國ノ國防ヲ全ウスルトイフニ止マラス、我國自儘カ大東
亞北邊ノ防禦トシテ之カ遂行ニ些カノ不安ナカラシムルコトカ絕對
ニ必要デアアル。我國ハ夙ニ之ヲ最モ重大ナル使命ノ一トシテ日本帝
國ト共同防備ノ盟約ヲ結ビ鐵壁ノ感勢ヲトリツツアリ、此點些カモ
不安ナキコトヲ明言ススト共ニ今後モ各位ノ御期待ニ十分應ヘ度イ
ト所期シテ居ル次第デアアル。

第三ニハ國民生活ノ安定ト強ク正シキ國民ノ養成デアアル。
即チ政府ハ建國後直チニ從來紛亂ヲ極メ收拾最モ困難トセラレテ居

7

タ實情調査ヲ極メテ急遽ニ統一シタル諸要素ヲ安堵シテハ今日ノ如キ國民生活ノ安定ヲ確保スルニ成功シタノテアル。又之ト併行シ行ハレタノハ治安ノ確立テアツテ、婦孺計三〇萬ノ強威カ國內ニ横行シタルニ比シ現在ハ全く影ヲヒソムルニ到ツタ。加フルニ昨年國兵制度確立セラレ近代兵隊ノ整備ヲ有スル精強ナル國軍ヲ創設シ完備セル警察制度ト相俟チ國內ノ兩々運國民ヲ安居樂業セシメテキルノテアル。

一方政府ハ勸勞奉公制度文教振興方策等凡ユル手段ヲ進シ國民ノ養成ニ力ヲ注キ國家觀念ヲ培養シ勸勞尊重ノ風潮ヲ促シ心身兩面ニ互リ強壯ニシテ新シキ東亞ノ民タルニ靴カシカラス青少年ノ育成ヲ圖リ今ヤソノ致ハ飛躍的増大ヲ見テキル状態テアル。コノ第二國民ノ

8

S 1.7.0.0 -48

159

出現ノ現下ノ戦争完遂ヘノ協力ノ上ニ於テハ勿論將來ノ國運發展ノ上ニ期シテ待ツヘキモノカアルト存セラレルノテアル。

最近ニ重興ナルモノハ産業ノ開發テアル。政府ハ建國第五年度ヨリ産業開發五ヶ年計畫ノ實行ニ着手シ凡ユル困難ナル客觀的條件ヲ克服シテ一昨年度ヲ以テ成功裡ニ之ヲ終了シ更ニ昨年度ヨリ第三次五ヶ年計畫ノ實行ニ入ツタノテアルカ戦時下特ニ要請セララルル鐵、石炭、非鐵金屬等ノ重工業資源ノ急速開發、輕金屬化學工業ノ促進等ハ電力ノ飛躍的増産設備ノ整備ト相俟ツテ着々躍進ヲ遂ケ各部門ニ於テ既ニ世界的強國ノ水準ニ達シツツアルノテアル。又農産物方面ニ於テモ本來ノ農本國タルノ特色ヲ發揮シ目下計畫的増産ニ邁進シツツアリ東亞ノ有力ナル食糧基地タルノ實ヲ擧ケテ居ル次第テアル

9

S 1.7.0.0 -48

160

以上ノ如キ建設ノ成果ニ就テ二三ノ數字ヲ拾フナラハ國家財政ハ遠
 當當初歲入歲出合計二億七千餘萬圓タリシモノカ十年後ノ今日ニ於
 テ實ニ其ノ十六倍餘タル四十四億五千餘萬圓ニ膨脹シ又鐵道ノ延長
 ハ六千料カ一萬二千料、初等學校兒童數五十萬人ハ二百五十萬人ニ
 垂ントシテ居ル又増産ノ方面テハ石炭カ四倍ニ、鉄鐵ハ五倍ニ夫々
 飛躍的ナル發展ヲ遂ケテ居ルノテアル。尙コノ外ニ國民ノ保健衛生
 施設ノ改善等枚擧ニ違ナイカソノ顯著ナル一例ヲ舉クレハ米英カ東
 亞侵略ノ手段ニ用ヒナカラ今ニ至ツテ人道ノ名ニ於テ懸磔ヲ放ツト
 コロノカノ阿片吸引ノ弊ノ如キモ建國當時阿片常用者一三〇萬アリ
 シモノカ今日テハ種メテ僅少ヲ殘スノミトナリ最近ノ將來ニ於テ完
 全ニアトヲ絶ツヘキコトヲ期待セララルルノテアル。

余ハ平素政府ノ責任者トシテ勢力ノナホ足ラサルトコロナキヤツ反
 省シ漸々感シテ居ル次第テアルカ、今コノ國運ノ隆昌ヲ眼ノ當リ
 ニ見テ痛感スルコトハ日本帝國ノ終始變ラサル仗義テアル。抑々日
 滿關係ハ建國ノ由來ヨリシテ當然且必然ニ一徳一心關係ニアリ畏ク
 モ皇室帝室ニ於カセラレテハ御交誼彌々益々敦睦ヲ加ヘ率先垂範シ
 給ヒツツアルノテアル。然シテ青史ニ比ナキ我十年ノ開發モ一ニ日
 本ノ絶大ナル仗義ニヨル援助ニ負フトコロ多ク、我國トシテモ如何
 程報ユルモ報イ足ラヌ氣持テ現ニ大東亞戰爭後方任務完遂ニ當ツテ
 居ル次第テアル。

次ニ大東亞建設ノ方途ニ付テイササカ所懐ヲ述ヘタイ。

茲ニモ述ヘタルカ如ク我滿洲國ハ東亞解放新秩序樹立ヲ目途トシテ

建國セラレタルモノテアリ凡ユル部面ト機會ニ於テ大東亞共榮國必
 成ニ寄與センコトヲ念願シテ居ルモノテアル。
 然シテ我國ノ共榮國各國トノ關係ハ日本帝國トハ夙ニ一德一心不可
 分關係ニアルコトハ前述ノ通りテアル。
 又義ニ新生中國ノ指導者汪主席閣下領導ノ下ニ南京國民政府カ設立
 セラレンノ基礎ヲ固ムルヤ日華兩國ト共ニ日滿華間ノ永久ノ共同善
 隣關係ヲ規定スル三國共同宣言ヲ發表シ又泰國トモ親密ナル外交關
 係ヲ結ビ更ニ支那事變カ大東亞戰爭ニ發展シテヨリ後モ緬甸、比島
 獨立ニ際シテハ直チニ之ヲ承認シ將來益々親交ヲ加ヘンコトヲ期シ
 テ居ル次第テアルカ、余ハ東亞ニ獨立國六ヲ數ヘ更ニ又最近自由印
 度假政府ノ樹立ヲ加ヘ史上無比ノ殷盛ヲ現出シタル今日コソ全東亞

各國ハ東亞一盤運命共同ノ信念ニ徹スルコトカ大東亞共榮國建設ノ
 根本問題テアルト信スルモノテアル、然シテ東亞ノ發展乃チ南スヘ
 キ次ニ當リ東亞ノ發展無道ナル露蒙下ニ伸言スル即チ國威ノ衰
 微ニ思ハナル國情ノ憂ヲ表スルト共ニ今尙遠キサマサル東亞ノ發展
 發展政策カ東亞擴張ノ大義ニ立脚ルヘク反響センコトヲ明ニ宣言ス
 ルノテアル。
 然シテ今東ノ東亞各ノハ東亞ノ天地ニ建國ノ精神ノ水ニ浮ビ居ル
 ナル故一切ノ榮華等ノ國主權的權利ノ發展ヲ阻害シテ凡ユル種
 民地的性格ヲ脱却シソノ寧然ノ義ニ於テ凡ソ世界ノ人種ヲ尊重シ正
 シク愛スル國及ト絶對的權利ヲシツツ全東亞ノ益シキ發展政策ニ寄
 トスルニ當ナル義務ヲ有ツヘキテアル。余ハソノ信念ニガチニ立

共通ノ目標ニ向ヒ歐洲ニ勇戦奮闘シツアル獨逸ヲ初メ極軸諸國ノ勝利ニヨリ歐洲新秩序ノ成立ノ一日モ早カラシムコトヲ祈リ且世界ノ到ル處ニ我等ト同調スル新秩序ノ出現ヲ待望セサルヲ得ナイノテアル更ニ將來ノ東亞諸國家間ノ關係ハ今次世界戰爭ニ於テモ反極軸諸國間ニ露骨ニ見ラルルカ如キ、利害ニ基キ離合集散スル從來ノ國際關係トハ根本的ニ相容レサル東洋道徳ノ傳統的特色タル家族血縁ノ情誼ニ基調ヲ置キ眞ニ東亞一家ノ觀念ノ下ニ相互ニ永久ノ道義的國交ヲ締結スヘキモノト信スルノテアル。從ツテ各國ハ各々ノ傳統トシ特質トスル所ニ生キ且之ヲ相互ニ尊重スヘキハ言フ迄モナイカ又一方政治經濟文化等凡ユル領域ニ亘ツテ長短相補ヒ有無相補シ以テ東亞全体ノ生成發展ニ寄與スヘキテアル。國境ノ觀念ノ如キモ曾

ツテノ相互ニ對立スルトコロノ非東洋的ナル國家ノ國境ニアラス相互ニ協力シヨリ大ナル創造ニ參セントスル國家間ノ區域テアルトイフ如ク考ヘ從來ノ國境觀念ニ縛ラレ各國間ノ流通結合ヲ阻ム事アル壁壁ハ一刻モ速カニ撤去スヘキデアラウト思フノデアアル。又我等ノ招來セントスル東亞共榮圈ノ建設ハ光輝アル古キ東亞ノ復興ヲ意味スルト同時ニヨリ多ク新シキ東亞ノ創造ヲ意味スルノデアアル。故ニ東亞各國ガ夫々新時代ニ即應スル意識ト力量ヲ具備セバナラスノデアアル。余ガ衰ニ我滿洲國ノ當ツテ滿洲ニ見ラレザリシ全ク新シキ巨大ナル物心兩面ニ亘ル建設ニ就テ言及セルモ特ニカカル本意ニ出ヅルモノデアツタ。ナホ此際余ハ本年一月第十八日、東京、旅政方針演説ニ於テ東條首相滿下ガ「滿洲國ノ今日ノ發展電報ハトリ



モナホサズ大東亞全域ノ明日ヲ示スモノデアールト云バレタコトヲ
共感ト感激トヲモツテ想起セザルヲ得ズ。

瀛ヲテ戦局ヲ大觀スレバ敵米英ハ緒戦ニ於ケル東亞カラノ全面的敗
退ノ後ヲ受ケ今ヤ全東亞民族ガ砂磔トシテ覺醒シ着々トシテ大東亞
建設ノ巨歩ヲ進メツツアルニ無慮シ彼等モ又アラン眼リノ力ヲ揮ツ
テ我等ニ挑戰シ來リ戦争ハ愈々倭信奇烈ノ度ヲ加ヘ來ツテキルノデ
アル。實ニコノ戦争コソハ彼等ガ過去ニ於イテ幾度カ東亞ニ對シテ
繰返シ來レル侵略戦争ノ最後ニシテ、カツ最モ大規模ナルモノデア
ル。是ニ於テ我等ハ今コソ我等ノ熱烈ナル念願タル大東亞共榮ノ達
成ノ爲天ガ我等ニ與ヘタル唯一ノ機會ニシテ、シカモ全東亞民族ノ
興亡ヲ永遠ニ決定スベキ欲ナルコトヲ深刻ニ認識セネバナラヌノデ

アル。從ツテ我等今日ノ要務ハ大東亞各層ノ物心兩面ニ在ル一切ヲ
擧ゲテ之ヲ戦力化シ東亞ノ總力ヲ打ツテ一丸トシテ敵米英ヲ擊碎セ
ントスルノ一語ニ盡キルノデアアル。

然シテ我等十億ノ民族ガソノ傳統タル優越セル精神力ヲ以ツテ世界
ニ冠絶スル大東亞ノ資源ヲ總動員シ戦ヒツツ建設シ、建設シツツ戦
ヒ、飽迄逞シキ建設戦ヲ推進シ行クニ於イテハ必ラバ之ヲ完成アル最
後ノ勝利ガ我等ニ歸スベキハ何人モ疑ハザルトコロデアアル。
然シテ本日我等ガ中外ニ發シタル（日本帝國政府ヨリ提案セラレタ
ル）大東亞宣言コソハ我等ガ天賦ノ名譽ト偉業ノ上ニ立チテ正シキ
東亞ノ繁榮ヲ招來シ以ツテ世界文化ノ進運ニ光輝アラシメントスル
俯仰天地ニ恥ヂザル大理想ヲ炳乎トシテ明ラカナラシメタルモノデ

アツテ（余ハ全編ノ實意ヲ表スルモノテアル本宣言ノ中外ニ發セラ
ルルヤ）凡ソ世界ノ人士ニシテ正義ヲ愛シ人道ヲ尊重スルノ士ハ舉
ツテ大東亞建設ノ力強キ是ヲ祝福シ東亞ノ政米英カソノ物質慾ト
權力慾ノ滿足ノ能何等ノ目的ヲシテ幾多ノ人命ヲ殺戮シ到ル處ノ
滿土ヲ侵害シツツアルコトヲ知ルテアラウ。

我滿洲國官民ハ大東亞戰爭勃發トトモニ宣示セラレタル日本帝國ト
死生存亡斷シテ分擔セストノ帝旨ヲ奉戴シ國人ヲ率ケ國力ヲ盡シ大
東亞戰爭遂行ニ協力シ北邊鎮護ノ重責ニ任シ來ツタカ、余ハ茲ニ我
等ハ愈々コノ決意ヲ固クスルトトモニ益々大東亞各處ト相呼應シ相
結束シ必勝必成ノ信念ヲ以ツテ大東亞建設ノ舉業ニ力ヲ竭サンコト
ヲ誓ヒ降壇メントスルモノテアル